

「学生におけるゲノム情報リテラシーの現状評価と教育的示唆 に関する質的研究」に対するご協力をお願い

研究責任者 小崎 健次郎
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 臨床遺伝学センター

私ども臨床遺伝学センターでは、ゲノム研究・ゲノム医療の推進に取り組む中で、教育を一つの課題として位置付けております。その一環として、上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施いたします。

本研究の実施により、慶應義塾大学の学生の皆様に新たな負担が生じることは一切ありません。また学生の皆様のプライバシー保護についても最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない学生さんは、その旨を「9 お問い合わせ」に記載の連絡先までお申し出下さい。

なお、本研究の対象者には既に卒業した学生も含まれており、個別の同意取得が困難であるため、以下のホームページにて情報を公開しております(<https://www.med.keio.ac.jp/>、<https://cmg.med.keio.ac.jp/>)。

1 対象となる方

2023～2025 年度に、慶應義塾大学の日吉キャンパスおよび信濃町キャンパスで小崎健次郎が担当したゲノム情報等に関する授業を受講した学生さんが対象となります。

なお、該当授業を欠席した場合、または授業後の試験を受けなかった場合は、本研究の対象にはなりません。

2 研究課題名

承認番号 20251212

研究課題名 学生におけるゲノム情報リテラシーの現状評価と教育的示唆に関する質的研究

3 研究組織

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター	教授 小崎 健次郎

4 本研究の目的、方法

ゲノム情報の活用が進み、その理解の重要性が高まっている一方で、現在の成人の多くは、義務教育や高校教育の中でゲノム情報の概念を体系的に学ぶ機会がほとんどありません。

本研究においては、責任研究者が担当するゲノム情報・ゲノム医療・遺伝学に関する授業を受講した学

生さん(医学部学生と非医学部学生)を対象に、授業後の感想文を解析し、ゲノム情報に関する理解の変化を明らかにします。これにより、一般成人と、将来患者に説明を行う立場となる医学生の特徴を把握し、ゲノム情報に関する教育のあり方を検討する一助とすることを本研究の目的としています。

5 協力をお願いする内容

過去 3 年間(2023 年度から 2025 年度)の小崎健次郎の授業を受講した学生さん(日吉の 1、2 年生、および医学部 3～6 年生)が提出した答案・レポートを利用します。これらの文書データは匿名加工情報とし、個人が識別できない形に加工した上で解析します。文書データの匿名加工は本掲示の開始一ヶ月経過後に行い、研究期間終了後にその情報を削除します。匿名加工後は、個別のデータが誰のものであるかが識別できなくなりますので、研究参加の撤回はできません。あらかじめご了承ください。

6 オプトアウト文書の公開方法

本研究では、個別の同意取得が困難であるため、オプトアウト方式により研究を実施します。オプトアウト文書は、①慶應義塾大学医学部および②臨床遺伝学センターのホームページに掲載し、以下の URL にて一般に公開します。

① 慶應義塾大学医学部(<https://www.med.keio.ac.jp/>)

② 臨床遺伝学センター(<https://cmg.med.keio.ac.jp/>)

公開期間は、倫理委員会の承認日から1か月以上とし、研究対象者またはその代理人が研究参加を希望しない旨を申し出ることができるようにします。

7 本研究の実施期間

研究実施許可日～2029 年 3 月 31 日

8 外部への試料・情報の提供

該当しません。

9 お問い合わせ

本研究に関する質問・確認、研究参加停止のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究への参加に関する意思表示について委任を受けた方など)より、研究参加の停止・撤回を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

住 所:東京都新宿区信濃町 35

電 話:03-5363-3890(平日午前 10 時～午後 5 時まで)

研究責任者:小崎健次郎

以上